

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和4年6月21日(火)13時30分～13時50分
3. 場 所：原子力規制庁 16階C会議室（web開催）
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

橋倉主任技術研究調査官

河野主任技術研究調査官

北條主任技術研究調査官

水田技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

船田技術参与

高倉技術参与

原子力エネルギー協議会：1名

九州電力株式会社：3名

三菱重工業株式会社：5名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施している安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「原子炉圧力容器の健全性評価に係る研究（2020年度～2024年度）」において、監視試験片を使用した研究を実施するため、監視試験片の過去の試験データの貸与について、九州電力株式会社に確認を行った。また、監視試験片の貸与を受けて実施する各種試験の発注方法や比較標準材の活用方法について、九州電力株式会社及び三菱重工業株式会社と意見交換を行った。

規制庁は、九州電力株式会社に対して、過去の監視試験片の試験データについて貸与を受ける場合、現在取り交わしている依頼文書の他に文書が必要ないことを確認した。また、規制庁は、過去の監視試験片の試験データについて、必要な情報を整理した上で貸与を依頼すると伝えた。

規制庁より、前回の面談（令和4年3月3日）で説明した2023年度に監視試験片の試験を実施する場合の発注方法について、委託先経由になることを説明した。参加者からは、了解したとの回答を得た。

比較標準材の活用方法について、規制庁は委託先と検討中であることを説明し、具体的な試験計画が決まり次第、面談を行いたい旨を伝えた。これに対し、参加者からは、了解であるとの回答があった。

6. その他

提出資料：特になし。